

第 3 回 館山市議会定例会会議録  
(第 3 号)



1 昭和60年9月18日(水曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 27名

1 番 神田 守隆  
3 番 山中金治郎  
5 番 川名 正二  
7 番 榎本 春光  
9 番 福原 勤  
11 番 飯田 義男  
13 番 石井 昌治  
15 番 渡辺 昭夫  
17 番 近藤 好雄  
20 番 石井 武敏  
22 番 林 豊  
24 番 流山源次郎  
26 番 石井 正  
28 番 安澤 徳順

2 番 田沢 勝信  
4 番 日下 君敏  
6 番 生稲 隆  
8 番 小宮 利夫  
10 番 横溝 功  
12 番 石井 謀  
14 番 伊藤幸太郎  
16 番 松下 正己  
19 番 黒川 平治  
21 番 吉田勇治郎  
23 番 伊賀 多朗  
25 番 五十嵐 昇  
27 番 安西 益男

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

市 長 半澤 良一  
収 入 役 山田 俊康  
総務 部長 川畑喜代志  
経済 部長 吉岡 政雄  
教育委員会 杉村 芳枝  
教 委 員 会 長

助 役 小倉 澄男  
市長公室長 斉藤 武男  
民生 部長 鈴木 力  
水道 課長 石井 敏夫  
教育委員会 福原 修  
教 育 委 員 会 長

1 出席事務局職員

第1号に同じ

1 議事日程(第3号)

昭和60年9月18日午前10時開議

日程第1 議案第40号 財産の取得について

議案第39号 字の区域及び名称の変更について  
議案第41号 財産の取得について

- |       |   |           |  |
|-------|---|-----------|--|
| 日程第 2 | { | 議案第 4 2 号 | 館山市母子又は父子の家庭に対する医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
|       |   | 議案第 4 3 号 | 館山市身体障害者家庭奉仕員派遣事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について       |
|       |   | 議案第 4 4 号 | 老人家庭奉仕員派遣事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について             |
|       |   | 議案第 4 5 号 | 館山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について           |
|       |   | 議案第 4 6 号 | 公有水面埋立免許に関する答申について                             |
| 日程第 3 | { | 議案第 4 7 号 | 昭和 6 0 年度館山市一般会計補正予算 (第 1 号)                   |
|       |   | 議案第 4 8 号 | 昭和 6 0 年度館山市国民健康保険特別会計補正予算 (第 1 号)             |
|       |   | 議案第 4 9 号 | 昭和 6 0 年度館山市老人保健特別会計補正予算 (第 1 号)               |

開 議 午前 1 0 時 0 3 分

○議長 (流山源次郎君) 本日の出席議員数 2 7 名、これより第 3 回市議会定例会第 3 日目の会議を開きます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

#### 議案の上程

○議長 (流山源次郎君) 日程第 1、議案第 4 0 号財産の取得についてを議題といたします。

地方自治法第 1 1 7 条の規定により川名正二君の退席を求めます。

( 5 番議員川名正二君退場 )

#### 質 疑 応 答

○議長 (流山源次郎君) これより質疑を行います。

通告がありますので、発言を許します。

1 番議員神田守隆君。御登壇願います。

(1 番議員神田守隆君登壇)

◎ 1 番 (神田守隆君) 議案の第 40 号の財産の取得について御質問いたします。

この財産の取得については、館山駅周辺市街地整備事業の実施に伴う仮店舗、仮営業所等に必要なためであるとしておるわけでありましたが、質問の第 1 点は、財産を取得した後の管理についてどのように考えておられるのか。

仮店舗、仮営業所として利用されるということですが、これは市街地整備事業との進展とかかわろうかと思いますので、いつごろこうした利用についてはなるものなのか。

また、現在入居している方があるようではありますが、この財産の取得にあたってこうした入居者の権利の関係についてはどのようなになっておるのか明らかにしていただきたいと思うわけがあります。

以上、3 点にわたってお尋ねいたします。

(市長半澤良一君登壇)

◎ 市長 (半澤良一君) お答えをいたします。

議案第 40 号の財産の取得についての御質問でございますが、市が買収しようとする建物内を引き続き使用している 2 者と現在の所有者である館山銀座商店街振興組合との間で 8 月 16 日和解がなされました。その主な内容は、建物の明け渡し猶予期限を昭和 62 年 12 月末日までとする、2、賃料相当分としての損害金は毎月末日まで支払うこと等であります。

なお、建物使用者は、1、建物に造作を加え、和解成立時の現状を変更したとき、2、各自占有する建物の全部または一部を名目のいかんを問わず第三者に移転したときは明け渡し猶予期限の利益を失い、無条件で直ちに各自建物を退去し、明け渡しすることになっております。

次に、仮店舗、営業所等として利用開始する時期はいつかとのことですが、事業着手による利用は 61 年度以降と考えております。しかし、その間館山銀座商店街振興組合員が独自に行う個店の改築等の際も仮店舗等として利用させ、また商店街の活性化のため催事場としての活用も

行い、買物客の増加を図っていきたいと思っております。

この建物の今後の管理につきましては、館山銀座商店街振興組合に委託する予定であります。建物の利用につきましては、館山駅周辺整備の一事業であるモデル商店街近代化事業を初め、駅東口市街地再開発事業等の推進のため仮店舗、仮事務所、催事場、集会施設等に利用していきたいと考えております。細部につきましては、議案可決後、市と振興組合の代表による協議会を設け、利用方法等について話し合い決定していく方針であります。

なお、吉田漁具株式会社の建物につきましても、同様の取り扱いをする予定でございます。

答弁を終わります。

○1番(神田守隆君) 現在、入居している方に関しての和解が成立しておる、62年の12月の末ですか、明け渡しということでの話し合いができていますから、これをやはりきちんと守らせていくことが非常に大事なことでないかというふうに思います。

以上で質問を終わります。

○議長(流山源次郎君) 以上で1番議員君の質疑を終わります。

以上で通告者による質疑を終わりますが、通告をしない議員で御質疑ありませんか。

○27番(安西益男君) 市街地整備事業に伴う仮店舗、仮営業所にしようということですが、これを利用する地域の範囲、地域の人たち、それから業種はどんなふうな方たちかということですね。

それから、あそこの建物ですけれども、仮営業所ないし仮店舗ということですが、下が何部屋、そして階上の方が幾部屋か。実際に仮店舗として利用でき得る部屋、これはもう検討されておると思いますけれども、どんな業種の人がどんなふうにご利用されるかなということをもまずお聞きいたしたいわけでございます。

それと、あの建物は御案内のように昨年競売になって、銀座振興組合が取得したということでございますが、当時聞いた話ですと7000数百万円ということでございます。今回、この取得の価格が9885万2000円ということでかなり開きがあるわけでございます。これは当然振興組合

が銀行利子とか、そういった利息等も含まれておると思いますけれども、かなりの開きがあるわけでございますが、こういった点はどんなふうな状況だったかということもお聞きしたいわけでございます。

それと、当然これは鑑定の評価があると思いますけれども、その辺の程度はどういうふうな状況だったかというようなことですね。

それと、また利用される方の条件——飯店舗、あるいは仮営業所を利用する人たちの条件はどんなふうな条件か、そういったこと。

それと、あそこは六軒町の商店街、127号線の商店街、拡幅計画が進められると思います。さらには海岸の方におりる道路、北側になりますか、そちらの方の側も計画としては22m拡幅というような計画があると思いますけれども、こういった点の——これはかなり先の問題だと思いたすけれども、そういった計画に合わせてこの建物の将来の処理といいますか、あり方といいますか、そういった点についてお聞かせ願いたい。

一応、とりあえずそういった点をお聞かせいただきたいと思いたす。

○経済部長（吉岡政雄君） お答えいたします。

まず、利用する方の範囲ということでございますが、先ほど市長から御答弁申し上げましたように、館山銀座商店振興組合等の方々の組合員が御利用なさることと、それから東口開発整備等によります方々の御利用ということになりまして、一応考えておりますのは振興組合員204名の方が利用なさるんじゃないかなというふうに考えております。ということは、すべてをクリアしたという形で行っていく場合にはそのぐらい必要だろう……。

それから、業種でございますが、銀座振興会に加盟しておられる組合員の方の業者でございますので、たくさんございますので、銀座振興会を歩いていただければおわかりになると思いますが、ああいう業者の方が入っていただく、こういうことでございます。

それから、何部屋あるかということでございますが、この議案40号につきましては2階が3部屋、1階が3部屋でございます。都合6部屋でございます。

それから、競売価格と今度の購入価格の差があるのではないかという御指摘でございますが、競売価格につきましては約8000万弱でございます。

したが、昨年8月に落札いたしましたわけでございます。今回8月に和解が成立いたしましたして、すべての入居者がクリアできたわけでございます。それで振興組合の方からは9950万余りで購入してくれというようなお話があったわけでございます。私どもはそこで不動産鑑定士に依頼をいたしまして、それをもとにいたしましたして計算いたしましょう、こういうわけで本年の8月の16日に茂原にいらっしゃいます米本という不動産鑑定事務所に御依頼いたしまして、当日鑑定をしていただいたわけでございます。鑑定の評価額は建物、土地あわせまして1億20万9900円という評価額が出たわけでございます。それから私どもの方でいろいろ銀座振興組合の方々と、役員の方々とお話をしながらいろいろと減額させていただきまして、今回お願いする数字になったわけでございます。

それから、貸し付けの条件でございますが、これは今後、先ほども御答弁申し上げておりますように、市と銀座振興組合の役員の方々と協議をしながら決めていきたい、このように考えております。

それから、将来、あの建物は都市計画道路ということになっておるのでどうかというお尋ねでございますが、これは22mの道路拡幅という予定線になっております。そういうわけでこの事業が終わりました暁、——おそらくこれは、たしか6月の議会だと思いますが、この事業は10年ぐらいかかるであろうというような御答弁申し上げているわけでございますが、その時期に至りましたときに一応小公園とか、そのような広場として使えればというような考え方を持っております。

以上、答弁を終わります。

○27番（安西益男君） 競売の価格とそれから取得した価格の開きが大分ありますので、どんな理由かなということをちょっとお聞きしたかったわけです。それはそれでわかれば教えていただきたい。

6部屋ということでございますが、実際に今言われた204軒といいますか、対象の方たちが実際に利用するところ、6部屋のうち営業に成り立つ場所、全部利用できるというふうには考えられないと思うんですね。今まであそこでかなり商売行き詰まってやめた方もおりますし、それはそれとして、大体の——階下の方は利用度があったにしても、対象の人たちの業種によっては非常に2階の方は商売成り立たないんでどうか、これはや



ってみなきゃわかりませんけれども、そういったほとんど全部がもろに使えるということは非常にどうかなというふうなことが考えられるわけですが、条件等もこれから検討されて決めるということでございますけれども、ひとつなるべく有効的な利用がされますように十分検討願いたいと思うわけでありす。

それと、都市計画によって10年後には取り壊してあそこを広場にするというわけですが、片方と片方、2面とられるということになるとわずかな場所になるわけですが、それまで結局仮店舗、あるいは仮営業所ということですとそのままやっていらっしゃるのかということですが、そういった点をひとつ……。

○経済部長（吉岡政雄君） ちょっと聞き漏らしましたが、質問の要点をもう一度お願いいたします。

○27番（安西益男君） 競売価格と市で取得した価格に大分開きがありますので、金融機関の利息等も含まれていると思いますけれども、そういった開きについてどんな理由があったのかということ。

それから、見通しとして、6部屋全部使用できるのかどうかということです。そういった見通しについてお聞かせいただきたい。

○経済部長（吉岡政雄君） 差額につきまして、概略御説明申し上げますと、やはり銀座振興会といたしましてもお金を借りましてお払いしているわけですが、競売価格を払っているわけですが、その利息が600万ちょっとございます、大きなものとして。それから、中に入っておられる方々のやはり立ち退き等に対します、顧問弁護士をお願いいたしましてやっているわけですが、この費用が大体約300万弱でございますが、かかっております。そのほか立ち退き料等がかかっております。そういうような諸々の雑費を含めまして約このような額になっておるわけですが、この内容につきましては市と振興組合と内容を精査いたしましてやってきたわけですが、

それから、6部屋の利用の見通しということでございますが、確かに2階に上がっていった物を買うということはなかなか不自由だというようなお考えじゃないかと思うんですが、私どもといたしましては、2階の利用につきましては店としての御利用もいただきながら、また仮営業所でござ

いますので、電話1本でそこでもって注文を受けてまた発送するとかというような方法のこともできるんじゃないかというような考え方で、6部屋はすべて利用していただきたい、このように考えております。

以上でございます。

○27番(安西益男君) もう一点。実際これやってみないとわかりませんが、果たして6部屋まんべんなく使用できるかどうかということも実際今後の状況によって判断するしかないと思いますけれども……。

それと、対象は204軒ということでございますから、もう1件吉田漁具ですね、そこを1カ所。あとそういった付近に、あの周辺にそういった店舗を取得願いたいという申し入れがあったとしたならばもっとふやす予定かどうか、その点をひとつ……。

○経済部長(吉岡政雄君) 今、私どもが考えておりますのは、大体仮店舗、仮営業所は1軒当たりが大体3カ月を予定しております。そういたしますと、今度買っていただきたいというふうに出しております建物が、6部屋あるわけでございますが、これが5部屋利用していただけたと仮定いたしますと、これは1年間に4回でございますので、20軒がクリアできるわけでございます。もう1軒の家もでございますので、1年に約40軒がクリアできる。そういたしますと200軒ということは全部御利用いただければ5カ年間で一応商店街すべてがきれいになるんじゃないか、このような計算上からは出てまいりますので、そのような考え方で進んでいきたい、このように思っております。

新規な建物ということでございますが、現在のところこの2棟があるならば大体私ども考えております5年ないし6年の間に事業を達成したいという考えでございますので、今のところはまだ考えておりません。また、そういう事態になりましたらまた検討してみたい、このように考えております。

○議長(流山源次郎君) 他に御質疑ございませんか。

○3番(山中金治郎君) 念のために1点だけお伺いさせていただきます。

この財産に私権の設定、いわゆる地上権だとか抵当権だとか、そういうものはされておらないかどうかお伺いします。

○経済部長(吉岡政雄君) すべてきれいになっております。

○議長（流山源次郎君） 他に御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 委員会付託

○議長（流山源次郎君） ただいま議題となっております議案第40号はお手元に配付の議案付託表のとおり所管の常任委員会に付託をいたします。

（5番議員川名正二君入場）

#### 議案の上程

○議長（流山源次郎君） 日程第2、議案第39号及び議案第41号乃至議案第46号の各議案を一括して議題といたします。

#### 質疑応答

○議長（流山源次郎君） これより質疑を行います。

通告がありますので、発言を許します。

1番議員神田守隆君。御登壇願います。

（1番議員神田守隆君登壇）

○1番（神田守隆君） 議案の第42号館山市母子又は父子の家庭に対する医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定についてお尋ねをいたします。

この条例の一部改正は、母子または父子家庭に対する医療費等の助成につき、県の要綱の改定にあわせて歯科に係る医療費も助成の対象にしようとするものでありますが、この改定によりどの程度の財源が必要となるものかまず1点お聞かせいただきたいと思います。

また、母子または父子家庭に対する福祉施策ということでこの条例があるわけでありましたが、助成を受ける資格に所得税非課税という所得制限条項があるわけでありましたが、この制度の趣旨から考えた場合にこうした所得制限を撤廃するべきではないかと思うのでありますが、この点についてのお考えはいかがであるかお聞かせを願いたいと思います。

その2点についてお伺いいたします。

（市長半澤良一君登壇）

○市長（半澤良一君） お答えをいたします。

今回、県の要綱改正に伴い、従来対象外とされておりました歯科の診療費が増高してきたため、対象に加えるという改正でございます。

予算額でございますが、国保の状況を見ますと、歯科の占める割合が件数にして14%、費用額にして8%の構成比となっております。この比率から考えますと費用額については8万円程度と見込んでおります。

次に、ただいま申し上げましたように、母子、父子家庭医療費給付助成制度は県の補助事業として実施しておりますが、要綱におきまして所得制限を設けており、その要綱に従って市の条例でも所得制限を設けているわけでございます。母子福祉施策といいましてもこれは低所得母子世帯対策でございますので、所得制限の撤廃は適當ではないと考えます。

答弁を終わります。

○議長（流山源次郎君） 以上で1番議員君の質疑を終わります。

以上で通告者による質疑を終わりますが、通告をしない議員で御質疑ありませんか。

○27番（安西益男君） 先ほどの質問に関連しますけれども、吉田漁具さんの建物価格はここに出ておりますけれども、土地は合計してどのくらいあったかということですね。

それと、ここも1階、2階、3階と部屋数は幾つか。

特に、ここは非常に条件がどうかと、非常に心配されますけれども、この見通しについてもどんなふうに考えていらっしゃるか、その点をひとつお聞かせください。

○経済部長（吉岡政雄君） お答えいたします。

議案41号につきましての土地でございますが、これは4筆に分かれておりまして、この地積は245.03㎡でございます。

また、利用の見通しということでございますが、やはり店舗の改造等のために利用していただくわけでございますので、少しはやはり不自由を考えていただかなきゃならないんじゃないか、しかしながら3カ月なり2カ月なり休業するよりはやはりこういうところを利用していただけますならば営業の方にもよろしいんじゃないかということからこれも利用していただきたい、このように考えております。

部屋数は、1階、2階、3階に分かれておりまして、1階が倉庫、駐車場、店舗が32平米でございます。これが1部屋でございます。2階が店舗と会議室になっております。これは広い会議室でございますから間仕切りはできるわけでございます。3階は現在のところ住宅になっておりまして、畳がひいてありまして、ダイニングキッチンですとか、そういうところがございしますが、これは改造するならば事務室にも使えるわけでございますが、畳の部屋の会議室にも使えるんじゃないか、このような考え方を持っております。

以上でございます。

◎27番(安西益男君) あまり部屋数とすると、実際に仮営業所ないし仮店舗の利用ということになると非常に制限されるような部屋数といえますか、部屋の構成というふうに考えられますけれども、大変年間40軒ぐらいとみておるようでございますが、これも実際経ってみないとわかりませんけれども、特にこちらの側から考えますと、3階までがどの程度かなということは大変危惧といえますか、そういうものを感じるわけでありませうけれども、これもやはり果たして5年間なり10年間なり、どの程度利用があるかなと、これもずっとみていかなければならないと思えますけれども、そういった点ひとつ利用度に対しての不安感というものを感じられると思うわけでございます。

それと、ここはある程度の時期がきたら、将来はどんなふうにご利用されるのか、その点もう1つお聞かせください。

◎経済部長(吉岡政雄君) 鉄筋の建物でございますので、モデル商店街の近代化等が完了されましたならば、現在からの、不動産鑑定士の残存耐用年数というんですか、それがまだ40年からあるわけでございます。そういうところからあの地域には集会所等もございませんので、こういうものの利用が終わりましたならば地域の方々の集会所ですとか、会議場ですとか、そういうものにも利用していきたい、このように考えて今はおります。

◎議長(流山源次郎君) 他に御質疑ございませんか。

◎11番(飯田義男君) 議案41号に関する問題でございますけれども、これはうわきでございましたので、きのう部長にいろいろ内容を聞きまし

たところ、そうではないという確証を得たんですけれども、なお議場ではつきり承っておきたいと思います。

41号の建物の下は赤道になっておるといふ周辺の人たちのうわさがあります。その点につきましてどうなのか明確にお答えを願いたいということが1つ。

それから、不動産鑑定士は茂原の不動産鑑定士に依頼をしたと言いますが、こういう不動産に対しては1人の鑑定士でなくて2ないし3の複数の鑑定士によるその値段のバランスを見て、そして決定するのが本当だろうと思いますけれども、1人の鑑定士によって決定したのかどうか。

その2つを承りたい。

◎経済部長（吉岡政雄君） お答えいたします。

お尋ねの宅地の赤道ということでございますが、該当する地番は館山市北条字新塩場1625番の1ということで地目は宅地でございます。面積は58.66平米でございますが、これは12人の共有になっておりまして、そのうちの4.88が吉田政弘——吉田漁具でございますが——の持ち分になっておりますので、赤道ではございません。

それから、鑑定士は1人だったかということでございますが、私も複数の鑑定士ということも考えたわけでございますが、市の職員の税務課、この中でやはり鑑定するのがいるわけでございますが、それがやはり一応見ておりまして、それと一応照合いたしましてやったわけでございまして、今回お願いした正式な鑑定士は1軒、ということで進めてまいったわけでございます。

以上でございます。

◎11番（飯田義男君） 12人の共有ということでございますけれども、他の11人がこれに承諾しておるのかどうかということをお願いしたいと思います。

◎経済部長（吉岡政雄君） お答えいたします。

この緑石は避難路ということになっておりまして、今度私どもが買ったと仮定いたしましても通路として利用できるわけでございまして、これは通路全部ふさがっちゃっているというものじゃなくて、通路をあけましてその上にまたがって建物が表と裏に分かれている、ということになって

おりまして、県道の館山白浜線寄りから入りました部屋が2階ということになります。それで西側が1階ということになりますので、現在は御近所のその12人の持ち分の方々が自由に緊急時の避難通路として使っております。こういうことでございますので異議はない、こういうことでございます。

◎11番（飯田義男君） それでは最後に、この建物を市が買収して後でそういう道路の問題等に禍根を残すようなことは絶対にないという確証がありますか。

◎経済部長（吉岡政雄君） 現在、考えられておりますことすべてクリアしたわけでございますので、ないと私は信じております。

◎議長（流山源次郎君） 他に御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 委員会付託

◎議長（流山源次郎君） ただいま議題となっております議案第39号及び議案第41号乃至議案第46号の各議案は、お手元に配付の議案付託表のとおり所管の常任委員会に付託いたします。

#### 議案の上程

◎議長（流山源次郎君） 日程第3、議案第47号乃至議案第49号を一括して議題といたします。

#### 質疑応答

◎議長（流山源次郎君） これより質疑を行います。

通告がありますので、発言を許します。

20番議員石井武敏君。御登壇願います。

（20番議員石井武敏君登壇）

◎20番（石井武敏君） ただいま議題となっております補正予算に関しましてすでに通告してございますので、通告の趣旨に従いまして御質問申し上げたいと思います。

質問は、議案説明資料によりまして御質問を申し上げます。

12頁の民生費についてでございますが、ここに福祉のしおり印刷製本費が出ておりますが、この福祉のしおりにつきましては、福祉行政の市において行っております行政のあらましをわかりやすく住民に理解をさせるというために現行の制度や施策を解説をしまして、住民に大いにその制度を利用させてもらおうという趣旨のもとに印刷がされているしおりだろうというように思いますが、これは大変に市民には喜ばれる施策ではないかというように考えております。

そこで、今回製本をされますしおりの内容につきまして、もう少し説明を加えていただきたい、具体的に説明を加えていただきたいというように考えます。

2点目、やはり民生費でありますが、ここに重度痴呆性老人介護手当が出ております。これは在宅の重度痴呆性老人を常時介護する者に対しまして手当を支給しようというものであります。そしてその負担を軽減して福祉の増進を図るということでありますが、対象者が8名ということで載っておりますが、非常に対象者が少ないという印象を受けたのですが、この対象者の認定につきましては当局はいろいろな認定基準を研究をされておられるのではないかとこのように思います。そこでこの際、その認定につきましての御説明を承りたいというように考えております。

3点目、次に4款の衛生費についてであります。これも新しい施策であります。市にとりまして海が浄化されるということは大事な施策であることはもとよりであります。そのもとになります河川におきましてこれを浄化をしていこうという施策の第1歩であろうというように私は考えますが、今回補正に載ってきておりますこの事業費は「主要な河川及び排水路の現況調査、処理方式の検討等、水質浄化対策を推進するための総合解析を行う」ということであります。もう少し具体的にどのような調査を、どのような方法でしようとするのかその辺を明らかにしていただきたいというように思います。

4点目、8款の土木費であります。これは城山公園整備事業についてであります。城山公園は御承知のように当市の代表的な公園でありますので、これが充実されていくことを期待するものであります。ここにあります造形作品製作委託料、これをもう少し具体的に説明してください。つ



まり、城山公園モニュメントのモニュメントの種類、そして設定する場所等々についてであります。

以上、御質問いたします。御答弁によりまして再質問させていただきたいというように考えています。よろしくお願いします。

(市長半澤良一君登壇)

○市長(半澤良一君) お答えをいたします。

まず、福祉のしおりについてでございますが、福祉のしおりは老人福祉、児童福祉、身体障害者児福祉、精神薄弱者児福祉、母子福祉、それに生活保護、医療費扶助など福祉制度全般にわたってわかりやすく解説した福祉制度の手引書ともいうべきものでございます。全世帯に配布いたしますので有効に活用していただけるものと考えております。

次に、重度痴呆性老人介護手当に関する御質問でございますが、これは65歳以上の重度痴呆性老人を家庭において常時介護している方を対象に支給するものでございますが、その認定につきましては、精神科医の診断書及び介護者の申し立てにより介護対象老人の不潔行為、徘徊、火の扱い等の問題行動16項目及び日常生活能力8項目につきましてその状態を点数化し、合計点数が20点以上の場合介護手当の支給対象者とするものでございます。

次に、河川等浄化対策事業についての御質問でございますが、その目的と内容でございますが、主要な河川、排水路の水質浄化対策を推進することを目的とし、その内容につきましては、市全域を対象とした概況調査等により重点調査対象流域を選定し、自然条件、社会条件などの現況調査並びに流域別排水量観測及び水質測定などの調査を行い、処理対象区域を選定し、その区域に適合した処理方式を策定しようとするものでございます。

次に、城山公園整備費についての御質問でございますが、これは城山公園のシンボルとなる彫刻を設置しようとするものでございまして、東京芸大の澄川喜一先生に依頼をいたすものでございますが、高さ6mの石柱の上に鳥の形をした動く彫刻を予定しております。この作品は、彫刻の径と同じ光と風と夢をテーマといたしまして、四季折々の緑の中で鳥が光り、風に舞い、飛翔する夢見る形を澄川教授がイメージをいたしまして、製作をするものでございます。また、設置場所につきましては、城山公園正面

園路の突き当たった右側で、芝生広場の東南部縦18m、横18mの台地に設置を予定をいたしております。

以上、答弁を終わります。

◎20番(石井武敏君) ただいまの御答弁であらましの了解はしたものでありますが、なお2、3点、追加質問したいと思います。

福祉のしおりにつきましてでございますが、先ほどの説明であります、老人、児童、身体障害者、精神薄弱者、母子等々の福祉に関する制度——これ母子のところで父子が入るんじゃないでしょうか、父子が抜けているように思いますが、ちょっと確認しておきたいと思います。といいますのは、かねてから私も父子家庭対策というのを何度かいろいろと制度的に御要望申し上げた点も他々ありますので、この点を少し明らかにしておいていただきたいというように思います。

それから、このしおりはどのくらいのページ数なのか、わかりましたらページ数。それから、製本して配本になるのは大体いつごろになるのか、その見込みがありましたら見込みをこの際説明を加えていただきたいというように考えます。

それから、次に重度痴呆性老人介護手当についてですが、これはいわゆる常時介護している人が対象で精神科医、あるいは診断書及び介護人の申し立てによるという説明が今ありました。なお、ここで日常生活の能力の8項目、また問題行動の16項目、全部で24項目を調査する、状態を調査して合計点が20点以上の場合には介護手当を支給するということですが、16項目と8項目を足すと24項目になるわけですが、24項目で20点以上の場合には介護手当を支給しようという基準のように御答弁からは承るわけでございますが、これは1項目1点ということで考えていいんでしょうか。また、実際採点をして、拾い分ける人は誰がこれを拾い分けていくかということですが、そこを少しはっきりしておいてもらいたいと思います。

それから、次に河川の浄化対策についてですが、これは御答弁によりますと、現況調査が主体でありまして、特に御答弁の中の流域別の排水量の観察であるとか、あるいは水質のどういう汚濁があるかという測定であるとか、これは理解できるんですが、またこうしたものはわざわざ頼まなく

でも日常市で水質の測定やあるいは排水量が、どこの川にどのくらい流れるかという測定ぐらいはできるようにも思えますが、御答弁の中に自然条件、社会条件などの現況調査を行うというようにありましたけれども、これは大変難しい調査なのだろうかと思いますが、この調査につきまして説明を加えていただきたいというように考えます。

なお、城山公園のモニュメントについてであります。今回はシンボリックな彫刻を置こうということで、名のある方をお願いしてつくろうということのようではありますが、このシンボリックのというとこれで一切終わりであるのか、モニュメント計画の中の計画像というものが何か今まではっきりいたしませんので、これで全部終わりなのか、あるいはどうなのか、その辺を計画的なあらましをお聞かせ願いたいというように考えます。城山公園の彫刻は非常に評判がよくて人気があるというふうに私は承っております。ですからやはりすぐれた彫刻、芸術的香りのある高いものがあるのではないかと考えておりました。そういうことでお尋ねするんですが、説明を加えていただきたいというように思います。

以上です。

◎民生部長（鈴木 力君） まず、福祉のしおりの内容でございますが、母子福祉に対しまして父子福祉ですか、これも含めてはどうかということでございますが、これも内容には入っております。

次に、しおりのページ数はどの程度かという御質問でございますが、50頁から55頁になる予定でございます。

それから、配布時期につきましては、来月10月中旬に発注を予定しておりまして、11月いっぱいには全戸に配布ができるというふうに考えております。

その次に、重度痴呆性老人の関係でございますが、これにつきましては配点基準は24項目ございますが、項目によりまして最高が5点、最低が0点というふうになっておるわけでございます。

それから、採点者はだれかというお尋ねでございますが、介護者から申請ございまして、それに対しまして、認定書には介護者がある状態を記入していただきまして、福祉事務所のケースワーカーがその内容を確認することになっております。

次に、河川等浄化対策事業でございますが、このうち自然条件の調査とは何かというお尋ねでございますけれども、これにつきましては重点調査対象流域の地形の状況、それから地質の状況、地表の状況、それに河川の勾配の状況等を調査するという内容のものでございます。それから、社会的条件の調査でございますけれども、一つの集落の特性形態、それから浄化槽の設置状況、それに事業所など多量排出者の分布の状況、排水状況、それから都市下水道あるいは排水路の整備状況、こういうことを指しまして社会的条件の調査と申し上げたわけでございます。

以上でございます。

◎経済部長（吉岡政雄君） 彫刻のことにつきまして、今後の見通しというお尋ねでございますが、現在考えておりますのは城山公園のシンボルとしての今度のお願いでございますので、今設置されているものを含めまして今のところはこれをもって一応城山公園の中に設置するのはこのぐらいでという考えでございますが、そのようなことで設置をさせていただいております。

◎20番（石井武敏君） 福祉のしおりにつきましては、父子に対する救済制度が入っているということなので……。また、ページが50頁、10月の中旬に製本、配本になるであろうということでもありますので了承いたします。

次に、重度痴呆性老人の介護手当ですが、この点につきましては、ぜひ適正な認定をお願いしたいというように考えております。

なお、最高点が5点ということですが、これは何にあたりますか、説明を加えておいていただきたいと思います。

それから、河川の浄化につきましては、ただいま御答弁であらう了承するものでありますが、おそらくこれを委託する会社はこうした種類の調査を今までやってかなりの実績がある会社に委託をされると思いますが、その辺の委託会社、委託先につきましての考えが何かありましたらひと言ここで説明を加えていただきたいと思いますというように思います。

それから、城山公園のモニュメントにつきましては、了承いたしました。

◎民生部長（鈴木 力君） 重度痴呆性老人介護手当のいわゆる認定基準でございますけれども、最高5点とございますのは、例えばわけもなく歩

き回るとか、あるいは夜中に外出しようとする、こういうふうに項目中いわゆる主要をなす基準につきまして最高5点というふうに付けてございます。これが常時そういう状態にあるという場合ですね。それから時々あるという場合に3点とか、あるいはないという場合には0点、こういうふうないろいろ項目によって採点の点数が違うわけでございますが、いわゆるこういう状態にある主要をなすものにつきまして5点というものを付けてございます。

それから、今度の河川の浄化対策の調査でございますけれども、この調査の委託先につきましては、専門業者に委託をすることを考えております。

○20番（石井武敏君） 質問を終わります。

○議長（流山源次郎君） 以上で20番議員君の質疑を終わります。

次に、1番議員神田守隆君。御登壇願います。

（1番議員神田守隆君登壇）

○1番（神田守隆君） 議案の第47号の昭和60年度館山市一般会計補正予算についてお尋ねをいたします。

私の質問は、この議案書に基づいて行います。

まず、11条の中ではありますが、心身障害者通所訓練室使用料ということで9万円の減額の補正が計上されているわけではありますが、これは当初予算で18万円の予算を計上して心身障害者の通所訓練のための訓練室の使用料に関するものであるというふうに理解しておったわけですが、今回こうした減額が出された理由について御説明をいただきたいと思います。

次に、12条ではありますが、1番上にあります重度痴呆性老人介護手当についてではありますが、今、この内容について質疑の通告をしたわけではありますが、内容についての御説明がございまして、その点については御答弁は結構であります。

これと、関連をいたしまして、現在痴呆性老人に対する施策として短期入所事業が行われておりますが、この痴呆性老人の問題というのは大変大きな課題になっているんじゃないか、こういうふうに思います。現在、調べてみますと、痴呆性老人対策として石川県の小松市では昨年から痴呆性老人を日中預かる施策を実施しているわけで、子供を預かる託児所に対して託老所なんていうような言い方でいわれているようでありますが、非常

に痴呆性老人を介護する家族の負担、非常に大きなものがあるだけに、こうした施策が非常に大きな全国的な注目も受けております。その後大津市であるとか、あるいは新潟市だとか、中野区であるとか、各地でこうした施策をとるところがふえているように思うわけではありますが、こうした痴呆性老人対策についてこうした施策を市としては検討されるお考えはないかどうかお聞かせをいただきたいと思います。

次に、12ページの河川等浄化対策調査委託料に関してでございます。私の質問の趣旨については、先ほどの石井議員の質問の趣旨と同じで、御答弁によりまして大体内容については理解をいたしました。

質問通告した内容から関連をするということになるわけではありますが、いろいろ先ほどの御答弁を伺っておりますと、この河川等浄化対策調査というのは自然環境を守る、自然環境保全というような環境対策というような側面だけにかかわらず、非常に浄化対策についての区域に適合した処理方法の選定というようなお話もありました、公共下水道に関する問題とも非常に関連があるのではないだろうかというふうに思うわけで、こうした下水道の整備等の関係についてこの調査との関係はどうなっておるのか、そうした位置づけがこの調査にあるのかどうか、その点についてお聞かせをいただきたいと思います。

次に、14ページであります、城山公園整備工事請負費ということで計上されておるわけであります。城山公園も大変整備が進んで非常に市民の憩いの場ということで大変喜ばれているという話も聞いているわけですが、しかし、一面駐車場等の整備が進んで、非常に風が吹いた場合のほこり対策というもので苦情も聞いているわけであります。こうしたほこり等についてどういうふうにお考えになっておるか、そして今後の城山公園の整備の方向についてはどういうふうに課題が考えられておるか、この点についてお聞かせをいただきたいと思います。

以上の点について、御答弁によりましてまた再質問もさせていただきたいと思えます。

(市長半澤良一君登壇)

○市長(半澤良一君) お答えをいたします。

まず、心身障害者通所訓練室使用料の減額の問題でございますが、現在

心身障害児通所事業として館山特別養護老人ホームの機能回復訓練室を借用しておりますが、10月からコミュニティセンターの1室を使用し本事業をより一層充実しようとするものでございます。したがって、10月以降の訓練室使用料が不要になるための減額でございます。

次に、重度痴呆性老人介護手当に関連いたしまして、託老施設について検討したらどうかという御質問でございますが、市といたしましては現在痴呆性老人を介護している方が疾病、事故、旅行、看護疲れによる休養等の理由により一時的に家庭において介護できない場合、館山特別養護老人ホームを利用し、痴呆性老人短期介護事業を実施しているところでございますが、今後寝たきり老人も含め特別養護老人ホームを利用した通所サービス事業を検討してまいりたいと考えております。

次に、河川浄化対策調査委託料に関する御質問でございますが、御指摘のように自然保護の立場だけでなく、生活環境に関する諸問題を解決しようとするために行う調査でございます。公共下水道の完成が最も望ましいわけでございますが、現在いつごろになるか、いつごろに着手できるか目途がたたない段階でございますので、その前段階としてあらゆる対策を講じたい、そういうふうに考えているための調査でございます。

次に、城山公園整備工事請負費に関する御質問でございますが、今回のお願いしております請負費は城山公園入口広場に造形作品を設置するにあたり、その基礎及びベンチ取り付け工事、駐車場入口回りの路盤整備377.3㎡と暗渠排水382mの敷設を予定し、また車止めを2カ所設置する計画で行っているための費用でございます。

現在の駐車場でございますが、今年度アスファルト舗装に整備をいたしまして、疎林広場につきましては芝生の植栽を予定しております。

さらに、今後の整備計画でございますが、城山南側斜面に梅林、千畳敷跡に万葉植物園、日本庭園を計画し、またさらにクジャク園をちびっこ牧場に、さらに管理棟を建設する計画でございます。

以上、答弁を終わります。

○議長（流山源次郎君） 以上で1番議員君の質疑を終わります。

以上で通告者による質疑を終わりますが、通告をしない議員で御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

### 委員会付託

◎議長（流山源次郎君）　ただいま議題となっております議案第47号乃至議案第49号の各議案はお手元に配付の議案付託表のとおり所管の常任委員会に付託をいたします。

延　　　　会　　午前11時08分

◎議長（流山源次郎君）　お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（流山源次郎君）　御異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会することに決しました。

次会は、明9月19日午前10時開会とし、その議事は昭和59年度各会計決算の審議といたします。

### ◎本日の会議に付した事件

#### 1　議案第39号乃至議案第49号